

## 一般質問通告一覧表

日付	発言者順序 【質問方式】	発言の要旨
令和 3年 3月 5日 (金)	1 竹内 ひろみ 【一問一答】	1 コロナ禍における生活支援について
	2 成田 智樹 【一問一答】	1 防災・減災施策について
	3 梶井 憲子 【一問一答】	1 環境と農業の振興について
	4 改正 大祐 【一問一答】	1 市政の透明性・公平性・公正性の確保について 2 子どもの食育について
8 日 (月)	5 加藤 裕美 【一問一答】	1 デジタル化に対応した持続可能な行政サービスについて
	6 山下 一哉 【一問一答】	1 市民目線に立った行政のデジタル化について
	7 恵比須 幹夫 【一問一答】	1 交通安全対策について 2 災害廃棄物処理計画について
	8 沢田 かおる 【一問一答】	1 図書館と読書活動推進について
	9 塩見 牧子 【一問一答】	1 いこま市民パワー(株)の中長期計画及び令和3年度事業計画について
9 日 (火)	10 浜田 佳資 【一問一答】	1 市長施政方針について

令和 3 年 2 月 19 日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 様

生駒市議会議員

竹内ひろみ



### 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

令和 3年 2月 19日  
午後 4時 13分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	コロナ禍における生活支援について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑・質問事項
1	コロナ禍における生活支援について
質疑・質問の要旨	
<p>新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから1年余り、第一波から始まった感染拡大は、現在これまでに最も大きな第三波の中にあります。二度目の緊急事態宣言が発出され、国民はいつ収束するか見通しのない不安の中にあります。中でも飲食業界を中心に廃業に追い込まれる業者や、解雇された非正規雇用の労働者、シフトを減らされ収入が激減したパートタイマーなど、生活困窮者が増えています。</p> <p>こんな中、私も様々な生活相談を受けています。ホテルに勤めていたシングルマザーの方は、お客さんが減ったためシフトを3分の1に減らされ、子ども2人を抱えてとてもやっていけないと、また、飲食店経営の方は、住居確保支援金のことで相談してこられました。売り上げが減ると、たちまち家賃の負担が重くのしかかってきます。</p> <p>また、私は地域の飲食店を中心に訪問をし、状況を聞かせていただきましたが、どこも非常に厳しい状況です。ある飲食店では、常連の高齢者などが外食を控えるようになり、テイクアウトを設けたが利用者は少なく先行きとても不安だと言われていました。奈良県は緊急事態宣言は出ていませんが、営業時間の短縮はされています。ある居酒屋さんは、8時に閉店では1組か2組という日が多く、今は週に3日しか開けていない、持続化給付金は受けたが一度きりでとても間に合わない、ハローワークで仕事を探しているが条件に合うところは見つからない、など窮状を訴えられました。</p> <p>まだまだコロナ収束の目途も立たない中、持続化給付金や家賃支援給付金も一度きりで打ち切られるなど、経営に行き詰まり、生活困難に陥る人が増えています。東京商工リサーチの調査では、昨年での全国での休廃業・解散が前年比14.6%増の4万9698件と、調査開始以降、過去最多となっています。このような中、事業支援はもとより、生活を丸ごと支援するワンストップの相談窓口が必要になっており、最後のセーフティーネット（安全網）である生活保護の役割はますます重要になっています。</p> <p>一方、厚労省の調査によれば、コロナ禍の影響で解雇・雇止め的人数は累計8万人（見込みを含む）を超えました。しかし、生活保護が必要な世帯の2割しか利用できていないという実態があり、その大きな理由に「扶養照会」があるといわれます。（生活困難者を支援する一般社団法人つくろい東京ファンド）。</p>	

私が相談を受けている高齢の自営業の方は、ケガで働けなくなり、少ない年金で医療費もかかり生活が苦しい、生活保護を受けたいが親戚に知られるのはかなわないと悩んでおられます。

扶養照会は、2016年7月に生活保護を始めた1.7万世帯に関して、計3.8万件も行われています。同ファンドは「困窮者を生活保護制度から遠ざける不要で有害な扶養照会をやめてください」と求めています。休業や解雇・雇止めが頻発するコロナ禍において、緊急避難的に「普通の労働者」が活用しやすいようにすることが、今まで以上に求められています。

1月28日の参院予算委員会での、「扶養照会」が生活保護申請をためらわせているとして、扶養照会をやめるべきだとの追及（日本共産党小池晃議員）に対し、田村厚生労働相は、「扶養照会」は法律事項ではなく、「義務ではない」と答えました。

さらに、厚労省は2月4日の衆院予算委員会で、照会手続きを緩和する方針を示し、弾力的に運用することを明らかにしました。親族に照会しないケースの一例として「20年間音信不通である」としていることについても、家族関係が壊れていて扶養してもらえないのであれば、20年にこだわる必要もないのではないかとの見解を示しました。すでに20年以下でも照会しない自治体があることから「事実関係を調査し、今より弾力運用できるよう努力したい」としました。国では、このような動きもある中、自治体としても弾力的な対応が望まれます。

いま、未曾有のパンデミックに見舞われ、国民、特に弱い立場の人々が苦難の中にあるとき、自治体としてもその苦難から住民を救う重要な役割を担っていることは言うまでもありません。今後、市民からの様々な相談や支援の要請が増えてくることが予想されますが、丁寧に相談をきき適切な支援につなげていくことが求められます。そのために、相談や支援に当たる人員を確保することも必要になるでしょう。これまでにない覚悟をもって、市民を丸ごと支援する様々な施策を行っていくことが求められています。

そこで以下の質問をします。

1. 生活保護について

- ① 令和元年度と令和2年度の生活相談件数、生活保護申請者・受給者の状況は？
- ② 「扶養照会」はどのようにしているか？

2. 生活困窮者に係るワンストップの支援体制についての市の方針は？

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

令和 3年 2月 25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

成田 智樹



## 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

令和 3年 2月 25日  
午前 11時 10分 受領

発言の種類 (○を付ける)		質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)	
1	防災・減災施策について	
2		
3		
4		
5		

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	防災・減災施策について
質疑・質問の要旨	
<p>東日本大震災発生から、まもなく満10年となります。</p> <p>被災経験を風化させることなく、その教訓を後世に伝え、活かすことが、様々立場は違えども、残されたものの責務であるとあらためて胸に刻みたいと思います。</p> <p>近年、気候変動の影響により気象災害は激甚化・頻発化するとともに、南海トラフ地震・首都直下地震などの大規模地震の発生も切迫しています。それらに屈しない強靱な国土づくりのため、国は、総事業費15兆円に上る「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を策定し、2021年度から5年間で計123の防災・減災事業を重点的に実施することを閣議決定しています。</p> <p>コロナ禍が終息しない中において、課題山積ではありますが、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の構築、そして、地域の防災力向上は喫緊、そして恒久的な課題です。このことをふまえ、以下のとおり質問いたします。</p> <p>(1) 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に係る事業の中で本市として優先して取り組むべき事業は何か。</p> <p>(2) 市総合防災訓練は、新型コロナ禍の影響により昨年度の開催は中止され本年度の開催を予定していると聞く。この訓練に関連して、本年1月に実施された避難所検討会の実施状況はどうであったか。</p> <p>その際、一部の指定避難所の施設管理責任者が欠席し、また、避難所自動参集職員に対しては出席を求めなかったことを確認しているが、それぞれどのような理由によるものなのか。</p> <p>今後、この検討会のような、地域の自治会、自主防災会及び防災リーダー等との研修・訓練等について、どのように進める考えか。</p> <p>(3) 地域の防災力向上のためには、市防災会議の充実・活性化が不可欠なものかと推察する。従前より公明党として女性委員数の比率向上を図るよう要請し、一定の成果については評価している。</p> <p>現在の市防災会議の開催状況についてどのように評価しているのか。</p>	

質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

令和3年2月25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員 梶井 憲子



### 発言通告書

次のとおり通告します。

令和3年2月25日  
午前11時33分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <input checked="" type="radio"/> 一般質問 (一括質問方式・ <input checked="" type="radio"/> 一問一答方式)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	環境と農業の振興について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
	環境と農業の振興について
質疑・質問の要旨	
<p>昨今、世界的に環境への意識が高まる中、ごみの不適切な処理による環境汚染が懸念されています。</p> <p>各地の農家から排出されるプラごみやビニールごみ、有害獣対策等で使用した金属性のごみ、農作物の廃棄ごみなど様々な種類の農業ごみが適正に処分されずに農地やその周辺に放置されているのが見受けられます。農業者からは適正な処理をしたいが、どうしていいかわからず苦慮しているという声も聞かれます。</p> <p>また、SDGsに取り組む生駒市として農業ビジョンにも示されている基本理念「食・農・環境の持続性強化と未来への展開」に基づいた農業の振興を進めるにあたり、新型コロナウイルス感染拡大の影響による生活様式の変化等も視野に入れながら、農作物の流通に関して、更に新しい取組が必要と考えます。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業分野で廃棄されるごみの適正な処理についてどのような取組をされているか。</li> <li>2. 市場に流通しない農作物の販売や消費を促すためにどのような取組をされているか。</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。



令和 3年 2月 25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員

改正 大祐



### 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

令和 3年 2月 25日  
午前 11時 34分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	市政の透明性・公平性・公正性の確保について
2	子どもの食育について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	市政の透明性・公平性・公正性の確保について
質疑・質問の要旨	
<p>これまで青山社中株式会社（以下青山社中）との随意契約については令和元年6月・12月・令和2年12月定例会の一般質問、企画総務委員会でのその他において質問致しました。これまでの答弁、また開示された資料を踏まえ、市として政策形成の過程を明らかにし、市政の透明性、公平性、公正性を確保するため、以下の通り質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年9月7日 生駒市情報公開及び個人情報保護審査会より不存在とした行政文書を再探索すべきであるとの答申が出ているが、その後、市はどのような対応をしたのか。</li> <li>2. 令和2年12月定例会の一般質問において、メールは電磁的記録という位置付けで、職員が職務上作成・取得したものは紙文書と同じ取り扱いになるという答弁がある一方、本市ではメールなどを公的に管理するような仕組み、ルールといったものが整備されていないという内容の答弁があった。これらは矛盾する内容であると思うが、市の見解は。</li> <li>3. 令和3年2月3日付で令和元年8月9日付の行政文書不存在決定が取り消され、青山社中への業務委託に関する新たな文書が開示された。一般的に開示請求後、電磁的記録はどのように探索されるのか。また今回新たな文書が開示されたことについて、市はどのような見解か</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	子どもの食育について
質疑・質問の要旨	
<p>2020年1月に「日本人の食事摂取基準」が告示されたことを受け、学校給食摂取基準が2021年4月に改正予定となっています。食事摂取基準は生活習慣病の発症と重症化の予防を重視しており、同じように学校給食においても生活習慣病の予防が踏まえられています。県は令和元年度の県民の「健康寿命」について都道府県別のランキングで男性が3位（前年4位）女性24位（同25位）と発表しました。既に平成25年の調査で健康寿命は食塩の摂取量が影響していることがわかっています。味覚の発達は12歳がピークと言われており、食塩の摂取量に限らず、生涯にわたって健康な生活を送るため、子どもたちが健全な食習慣を身に付けることは重要になります。これらを踏まえ以下の通り質問致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校給食摂取基準の改正に伴い、食塩相当量（ナトリウム）の摂取目標量が引き下げられる予定であるが、学校給食、また家庭に対して減塩への取組はどのような事を行っているのか。</li> <li>2. 市はどのような目標を立て、学校給食の実施に当たっているのか。</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

令和 3 年 2 月 25 日

生駒市議会 議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員 加藤 裕美



## 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

令和 3 年 2 月 25 日 午後 1 時 45 分 受領
-----------------------------------

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ 一般質問 (一括質問方式 ・ 一問一答方式) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	デジタル化に対応した持続可能な行政サービスについて
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

質疑 ・ 質問事項

1 デジタル化に対応した持続可能な行政サービスについて

質疑・質問の要旨

2040年ごろにかけて進行する人口減少、高齢化などの人口構造の変化、インフラの老朽化、社会全体のデジタル化に対応し、持続可能な行政サービスを提供地域の実情に応じてサービス提供するとともに、行政の即応性、柔軟性、総合性を増し、住民の期待に応え行政を効率化するというデジタル化に共通する目的に資する必要があります。またデジタル化にあたっては、行政のサービスのフロント部分だけでなく、バックオフィスも含めてIT化や住民の利便性や効率化を図るとともに地方創生をはじめとした課題解決に資することが期待されます。また、2020年は新型コロナウイルス感染拡大を防止するために三つの密を避けるためにも感染の危険性を減らすためにも、窓口の合理化、効率化を進める必要がありました。また、密をさけるためにもリモートワーク勤務も国でも推奨されており電子決済システム導入、オンライン会議など、窓口対応の時間的余裕のためにも押印レスや電子申請サービスを取り入れている民間企業もあります。地方公共団体のデジタル化の実現のためにも情報システムなどを効率的、効果的に整備する必要があり、今後もICT人材が不足する状況も踏まえ、地域や組織が連携をしていかななくてはなりません。そこで、以下の点を質問させていただきます。

1 行政サービスの IT 化についてどのように市は進めようと考えているのか。

2 行政サービスの取り組みの上でのセキュリティの強化についてどのような対策を考えているのか

令和3年2月25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員 山下一哉



### 発言通告書

次のとおり通告します。

令和3年2月25日  
午後1時52分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <input checked="" type="radio"/> 一般質問(一括質問方式・ <input checked="" type="radio"/> 一問一答方式)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	市民目線に立った行政のデジタル化について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	市民目線に立った行政のデジタル化について
質疑・質問の要旨	
<p>昨年9月に誕生した菅内閣の目玉政策の1つが行政のデジタル化を推し進める「デジタル庁」の創設を伴う本格的なDX（デジタルトランスフォーメーション）への転換です。</p> <p>このデジタル化の推進は、市民の皆様にとって、いちいち庁舎まで来なくとも、手続きが進められるなど行政手続きの利便性があります。また、行政職員にとっても、行政事務の効率化を図ることもでき、まさに、一石二鳥の取組ではないでしょうか。</p> <p>しかしながら、その安全性への不安や財政上の問題など、諸手をあげて、賛成とはいかないのが現状であることは、私も認識しています。</p> <p>もちろん、このデジタル化政策は国が進めるべきものではありませんが、国からの指示を待っているのではなく、生駒市もいち早く、できるところからこのデジタル化を進め、市民にとって、利便性、職員にとっては効率性の向上を図るべきだと考えます。</p> <p>いまだ終息をみないこのコロナ禍において、早急なデジタル化、オンライン化は喫緊の課題です。</p> <p>そこで、生駒市のデジタル化の状況やこれからの取組について、質問させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「マイナポータル・ぴったりサービス」の活用について、市はどこまで利用していますか。また、今後、追加を検討している項目はありますか。</li> <li>② 本市ではマイナンバーカードについて、どれくらいの方が現在所持されていますか。また、そのことについてどのように評価しておられますか。</li> <li>③ 「行政手続きの押印廃止」について本市の見解をお聞かせください。庁内で「押印廃止」の動きはあるのでしょうか。もしあれば、取組の状況を具体的にお示しください。</li> <li>④ LINEを使った行政サービスについて、本市の見解をお聞かせください。</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

令和3年2月25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

恵比須 幹夫



### 発言通告書

次のとおり通告します。

令和 3年 2月25日  
午後 2時 33分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 (一括質問方式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一問一答方式) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	交通安全対策について
2	災害廃棄物処理計画について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること



番号	質疑 ・ 質問事項
1	交通安全対策について
質疑・質問の要旨	
<p>(1) 区域(ゾーン)を定めて時速 30 km の速度規制を行う「ゾーン 30」、保育園・幼稚園・小学校、中学・高校を対象とする「交通安全教室」、春季・秋季に行われてきた「交通安全市民運動」等の交通安全対策の実施状況と成果について、どう分析・評価しているのか聞かせて下さい。</p> <p>(2) 交通安全対策について、現状の課題を踏まえ、今後の取り組みの方向性について考えを聞かせて下さい。</p>	

番号	質疑 ・ 質問事項
2	災害廃棄物処理計画について
質疑・質問の要旨	
<p>大規模災害発生時、復旧から復興へいたる過程で大きなポイントの一つとなるのが、速やかで円滑な災害廃棄物処理体制の構築です。</p> <p>本市では令和 2 年 3 月、「災害廃棄物処理計画」を策定、万一の場合の“備え”の第一歩を踏み出しました。</p> <p>日本国内では令和 3 年 2 月 13 日、福島県沖を震源とする最大震度 6 強の地震が発生、多くの方が負傷され、家屋や公共施設等で大きな被害が出ました。</p> <p>災害はいつ発生してもおかしく無いとの認識に立ち、本市においても「災害廃棄物処理計画」をもととした、万全な“備え”が今こそ必要であると考え、以下質問します。</p> <p>(1) 「災害廃棄物処理計画」を策定し、その内容を具現化するため、どのような取り組みをされてきたのか、聞かせて下さい。</p> <p>(2) 「災害廃棄物処理計画」の実効性をより高める為、今後取り組むべき課題について、どのように認識されているのか、見解を聞かせて下さい。</p>	

令和3年 2月 25日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員

沢田 かおる



### 発言通告書

次のとおり通告します。

令和3年 2月25日  
午後 2時 47分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	図書館と読書活動推進について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	図書館と読書活動推進について
<p>本市では子どもの読書活動推進にあたり、市民の生の声を直接聞き、それぞれの現場における悩みや課題を共有し、今後の目標と具体的な推進策や連携方法を見出す方が、今後の子ども読書活動を考える上で、効果的と考え、令和元年度ワークショップ「トライ！生駒子ども読書3.0会議」を実施しました。3.0会議を行い、様々な立場の人の意見を聞く中で、「生駒市子ども読書活動連絡調整会議」が一定の成果をみたといえること、また5年の区切りの年でもあることから、その役割を「トライ！生駒子ども読書会議」に移しました。</p> <p>今回、2021年度 市長施政方針 まちづくりの施策について 3「人権が尊重され、市民が輝く、文化の薫り高いまち」への取組 (生涯学習・文化・スポーツ活動の推進)より、抜粋すると、</p> <p>図書館では、市民団体と協働して、ビブリオバトルや「本棚のWA」等のイベントを実施するとともに、障がい者や高齢者、子育て世代等を支援するボランティアを育成し、活躍できる場を生み出すことにより、まちづくりの拠点として、地域のネットワーク構築を進めます と記載されています。</p> <p>令和3年1月号の広報いこまちには、図書館と中地区健康まちづくり協議会との協働で行われている取組『朝活読得会（あさかつよんどくかい）』が特集されました。</p> <p>また3月14日にはビブリオバトル全国大会が、この市役所4階会議室にて行われる予定です。</p> <p>読書活動に熱心な生駒市民の現状を鑑み、以下の質問をします。</p>	

- ① 子ども読書活動推進について今後の展開をお聞かせください。
- ② 施政方針に、図書館では、市民団体と協働して、ビブリオバトルや「本棚のWA」等のイベントを実施するとありますが、これまでの実績について教育の場での取組を含めどのように評価しますか。
- ③ 施政方針に、図書館では、障がい者や高齢者、子育て世代等を支援するボランティアを育成し、活躍できる場を生み出すとありますが、どのような場をお考えでしょうか。
- ④ 施政方針に、図書館では、まちづくりの拠点として、地域のネットワーク構築を進めますとあります。まちの活性化の鍵は図書館にあると思われませんが、今後どのように進めていけますか。

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

令和 3年 2月 25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

塩見 牧子



### 発言通告書

次のとおり通告します。

令和 3年 2月 25日  
午後 2時 57分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ 一般質問 (一括質問方式 ・ 一問一答方式) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	いこま市民パワー(株)の中長期計画及び令和3年度事業計画について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	いこま市民パワー（株）の中長期計画及び令和3年度事業計画について
質疑・質問の要旨	
<p>「いこま市民パワー中長期計画2021」（以下「中長期計画」という。）といこま市民パワー株式会社（以下、「市民パワー」という。）令和3年度事業計画について問う。</p> <p>1. 中長期計画について、平成29年6月1日に作成された「生駒市地域エネルギー会社事業計画」からの変更点と、変更に至った経緯を問う。</p> <p>2. 中長期計画に示された新たな木質バイオマス発電所について問う。</p> <p>①中長期計画の実現のため、出資者としての市が誘致したのか。また建設事業者と発電所計画地は。</p> <p>②建設地周辺及び風下地域の住民への説明はどのように行われているのか。環境社会影響評価を行わせることについての市の考えはどうか。</p> <p>③燃料となる木材の種類と量及び割合と調達先、灰の処理方法は把握しているか。また、建築廃材など、薬品処理されている可能性が高いが、どのような化学物質が含まれることを想定しているか。</p> <p>④ライフサイクル GHG（温室効果ガス）をどのように把握しているか。</p> <p>⑤環境リスクを市としてどのようにとらえ、またそのための監視（モニタリング）体制や市民への情報公開について、どのように考えているか。</p> <p>3. 中長期計画における家庭の卒 FIT による電力調達の件数と電力量の見込みを把握しているか。また、それは令和元年度に実施された「FIT 切れ太陽光を活用した地産地消エネルギーモデル調査検討業務」の調査結果をどのように反映しているか。</p> <p>4. 一般社団法人市民エネルギー生駒が整備する新たな太陽光発電は、公有地あるいは公共施設において設置することが予定されているのか。</p> <p>5. バックアップ電源を大阪ガス（株）からみんな電力（株）に切り替えた理由と、このことによる電気料金への影響についてどう考えるか。</p> <p>6. 大阪ガス（株）が取締役から退いたことによる株主間協定内容への影響はどうか。</p> <p>7. 地域経済付加価値が5年間で1.4億円との試算の前提条件と積算根拠はどのように把握しているか。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

令和 3年 2月 25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員

浜田 佳資



### 発言通告書

次のとおり通告します。

令和 3年 2月 25日  
午後 2時 58分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 (一括質問方式 ・ <input type="checkbox"/> 一問一答方式) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	市長施政方針について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。



番号	質疑・質問事項
1	市長施政方針について
質疑・質問の要旨	
<p>市長の次年度の施政方針について、評価できる点もありますが、多々疑問や不明な点もあり、その中から今回は次の点について質問する。</p> <p>1. 総論である「市政運営の基本方針」において、「複合型コミュニティづくり」と「市制50周年事業」が大きな比重を占めており、来年度の政策の柱であると見えるが、その点の認識、取組内容、効果、課題についてどうか。</p> <p>また、人口減対策、子育て世代流入促進との関連はどうか。</p> <p>2. この1年間、新型コロナウイルスにより、さまざまな負の影響を市民は受けており、かつこの状況がいつまで続くか誰にも見通せない。ワクチンには高い期待があるが、接種のスピードとウイルスの変異による不安があるからである。</p> <p>そこで、コロナ禍の一定の継続と収束の両睨みで構えておいて、ということになるのではないかと考えるが、その点はどうか。</p> <p>また、コロナ禍による市民への負の影響の軽減の取組はどうか。</p> <p>さらに、商工・観光において、今年度の取組をどう活かしていくか。</p> <p>3. 「まちづくりの施策について」の4の「適切な土地利用の推進・学研都市との連携」の中の「持続可能な都市構造」はどのようなものか。また、その前の「時代のニーズに即したコンパクトなまちづくりを一層推進し」とあるが、その内容と現時点での到達点、「一層推進」する点での課題は何か。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。